

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

A-STEP3、D-STEP3、E-STEP3

実施学年：中学校1年生 社会科 単元：アフリカ州
課題：「それぞれの国の特色と支援を考える」

<授業概要>

アフリカ州の国々の自然環境や歴史、そこからつながる産業を学んだ上で、国々が抱える問題や課題を見つけ必要な支援を考え発表する。班ごとに国や地域を指定し、支援を求める国や地域について、具体的な支援策と支援を受けた後の姿を考える。

プレゼンにはGoogleスライド、Canva、ロイロノートの中から好きなものを使い、具体的な支援策を訴えるプレゼン資料作りをめざす。

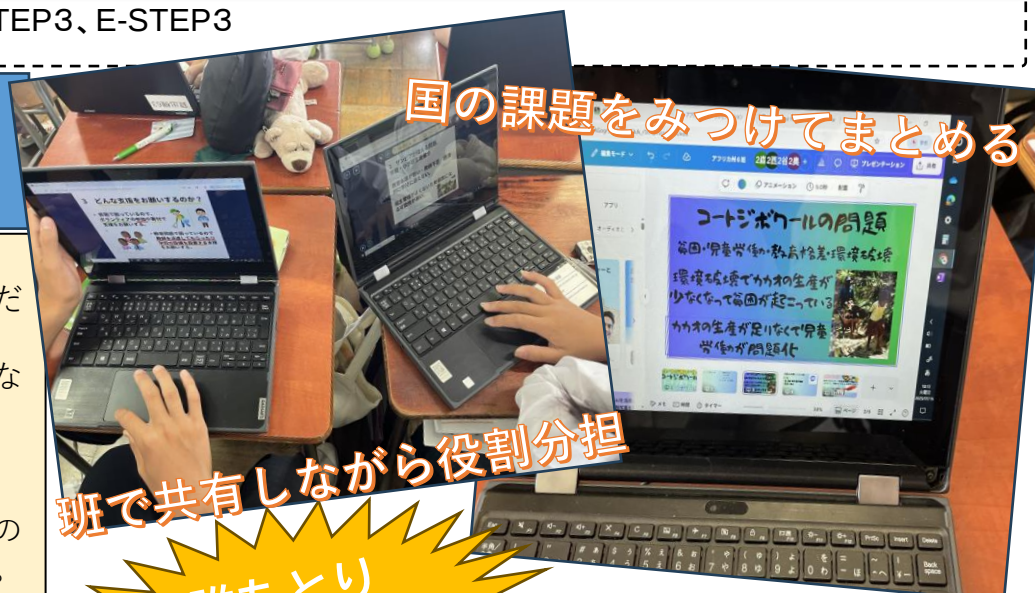
単元のはじめにパフォーマンス課題を設定する。生徒たちはある国の代表者の立場になり、どのような問題や支援が必要なのかを話し合う。そうすることで、アフリカ州について身近に考えながら、必要な知識を学んでもらう。

<はぐくみたい情報活用能力>

本実践では大阪府情報活用能力ステップシートにおける【A-STEP3：情報を比較、整理し自分の考えをまとめる力】【D-STEP3：目的に応じてICTツールを使ってまとめ、伝える力】【E-STEP3：発信の相手を意識して効果的に伝える力】の3点に重点を置いて、アフリカ州の国々が抱える課題に対して、生徒はその国にどのような支援が必要かを考え、ICTを活用してプレゼン資料を作成・発表することでこれらの力をはぐくむ構成としている。

<単元マップ活用の意図>

単元の初めに全体の見通しを生徒と共有し、学習のゴールに向かって主体的に取り組むことをねらいとして活用している。本実践では、単元の終盤に「パフォーマンス課題」を位置づけることで、段階的に知識やスキルを積み上げていけるように設定している。



国の課題をみつけてまとめる

班で共有しながら役割分担

誰もとりこぼさない授業

実践事例資料

単元マップ



<生徒の変容>

- ・与えられた情報だけでなく、教科書やインターネットを使って自ら資料を探し、グラフやデータをもとに根拠を持って説明しようとする姿勢が見られた。
- ・どのICTツールを使用するか、メリットを考えて作成・発表していたが、他の班の発表を見る中で他のツールの良さに気づき、次は違うICTツールを使用して作成したいという発言があるなど、それぞれのICTツールの特徴（メリット、デメリット等）を考えることができた。